

セーヌ川について

根本 芽希

私は今年の夏、フランスのパリに行きました。パリ市内を流れる有名なセーヌ川の周辺をたくさん歩きました。

セーヌ川には多くの船が行き来しているのにもかわらず、はとや水鳥、白鳥などがたくさん住んでいました。中でも水鳥は人が持っているパコやお菓子をカラスのように上から取りに来たりしていました。

セーヌ川の近くには、ノートルダム寺院やルーブル美術館、オルセー美術館、エッフェル橋などの有名な建物がたくさんあります。世界中から多くの人がびとが訪れています。そのため、テロ対さくの警官がたくさんいたので少しきんちよう感がありました。

セーヌ川にはたくさんの橋がかかっています。そして、いろいろな形の橋がありました。橋の下には、ハコモックやブランチコなどがせちされて子どもが遊べる所がたくさんあり



ました。

川ぞいではうなぎやおさんぽを楽しむ
パリの人たちがたくさんいました。中には川
のギリギリの所を走り続けている人もいまし
た。

セーヌ川には多くの種類の船があります。
バスのようにていりゅう所がある船がありそ
れに乗りました。有名な場所の近くに止まる
のでとても便利でした。

セーヌ川は、パリ市民にとっても、観光客
にとってもかかせない大切な川だと感じまし
た。市民生活の場の中心であり、すばらしい
川だと思いました。

